

中学校
1年

普段食べている野菜・果物を分類してみよう

八尾市立上之島中学校

教科

理科

単元名

植物の特徴と分類

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- 植物の花や葉、根のつくりなど、これまで学習した内容をふまえ、給食で使用されている野菜や果物の特徴から、観点・基準を考え分類する。
- 身近な食材である野菜・果物について、興味・関心をもつ。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- 図鑑などの書籍の中から、分類に関わる植物の特徴を捉える。
- これまで知らなかった植物の特徴について、視野を広げ、知識を深める。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 3, C-STEP 3
E-STEP 4, G-STEP 3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全9時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	・四季折々の身の回りにある植物を紹介し、植物への興味・関心を高める。
第2次 (7時間)	・植物の花や、葉、根のつくり、種子の有無などを学習し、それぞれの特徴を知る。 ・植物の特徴に注目し、植物がさまざまに分類できることを学ぶ。
第3次 (1時間)	・既習内容や図鑑などの書籍で知った内容を踏まえ、給食で普段食べている野菜や果物について、観点と基準を班ごとに定め、分類する。(☆) ・分類した内容を班ごとに発表する。

本時のねらい

- 既習内容を振り返り、給食で普段食べている野菜や果物について、図鑑などの書籍から読み取り、特徴を捉える。
- 特徴から、観点と基準を班ごとに定め、分類する。
- 他の班の発表から、植物に関する知識を深め、観点によって植物に関するさまざまな見方があることを知る。

本時の展開

T1：理科教員 T2：栄養教諭

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 給食で食べている野菜や果物の特徴を知ろう T2・栄養教諭による野菜のクイズから、普段食べている部分が植物のどの部位にあたるのかを知る。 T1・観点、基準についてどのように定めることができるのかを理解する。	・野菜の部位についてのスライド資料を活用する。
展開 (40分)	2. 給食で食べている野菜や果物の特徴を、観点・基準を定めて分類してみよう ・図書館の図鑑など、書籍を活用し、野菜や果物の特徴についての知識を深める。 ・分類できる観点・基準を班ごとに決め、ワークシートに分類する。 T1、T2班で分類した内容を発表する。 ・他の班の発表から、さまざまな観点・基準があることを知る。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">知りたい内容が定まっているときには、情報が整理されている図鑑を活用することで、情報を効率的に、詳しく得ることができることを実感させる。</div> ・基準が主観的なものにならないよう指導する。 ・既習内容から、観点・基準のヒントがあることに気づかせる。 ・観点や基準や分け方について正しく分類できているか確認する。
まとめ (5分)	3. 観点や基準によって、さまざまな分類ができ、新たな視点をもって植物を捉えることができることに気づく。 ・他の班の分類についても記録する。	・観点・基準をきちんと定めることで多くの情報を整理することができ、理解が深まることを実感させる。 ・図鑑を読んだり、図鑑で調べたりすることの楽しさに気づかせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・分類していく中で、主観的な基準では正しい分類にならないことに気づくことができた。また、図鑑を参考にすることで編集者が客観的根拠を基に分類していることを、理解することができた。

・実際に分類させることで、植物についての新たな知識を得ることができた。また、普段あまり読むことがなかった図鑑に触れることで、新しいことを知る楽しさを感じていた。



各班が分類した内容を発表し、クラスで共有している様子。